

NPO法人アサザ基金
代表理事 飯島 博 殿

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）実行委員会
事務局長 近藤 慶一



世界湖沼会議に関する要望と質問について（回答）

日頃より、県行政の推進につきまして、御理解を賜り御礼申し上げます。

平成30年2月13日付けで提出された標記要望書について、下記のとおり回答いたします。

なお、標記要望と質問については、茨城県知事あてにいただいたものですが、第17回世界湖沼会議については、すでに実行委員会が設置されておりますので、実行委員会からの御回答とさせていただきます。

記

（質問1）

わたしたちは、今回の世界湖沼会議において「原子力災害と湖沼環境」についての発表を考えていますが、先述したように現在のところ募集要項等を見ても該当するセッションが見当たりません。キーワードとして挙げられている「化学物質による汚染」にも（農薬、重金属）と明記され「放射性物質」は外されています。わたしたちが上記のような内容の発表応募をした場合採用される可能性はあるのでしょうか。

（質問1回答）

平成30年2月に発行した第2回開催案内書では、第5分科会「流域活動と物質循環」で湖沼及びその流域における様々な物質の循環について討議することを予定しており、放射性物質に関してもその対象としております。

発表応募いただきました場合、外部有識者が応募内容を審査し、審査結果をもって採否、発表分科会、発表形式を決定いたします。

詳細は第17回世界湖沼会議公式ホームページよりご確認ください。

公式ホームページURL：<http://www.wlc17ibaraki.jp/>

（要望1）

霞ヶ浦をはじめ東日本の湖沼や河川等の水環境に原発事故が及ぼした影響や今回講じられた対策、見えてきた課題等について、各国の湖沼関係者等と議論する、原子力災害と湖沼環境をメインテーマにしたシンポジウムやセッションを、第17回世界湖沼会議内に設けてください。

（要望1回答）

企画推進委員会等で検討した結果、原子力災害と湖沼環境をメインテーマとしたシンポジウムやセッションは設けないことといたしましたので、御了知願います。